

九州新幹線西九州ルートに係る国土交通省による調整について

九州新幹線西九州ルートの今後の進め方については、平成 28 年 3 月 8 日に国土交通省から武雄温泉駅での新幹線と在来線特急の対面乗換方式の説明を受け、長崎県として、平成 34 年度までの開業を実現するためには現実的な選択肢であると考えるとともに、地元関係者との調整等を再度要請したところです。

今般、平成 28 年 3 月 22 日に、国土交通省から長崎・佐賀両県に対し、費用負担等に係る調整の考え方について連絡がありました。長崎県が聴取した内容の概要は、次のとおりです。

○追加施設の負担軽減について

- ・対面乗換方式に必要な追加施設の整備については、佐賀県、長崎県の実質的な追加負担の無いような措置を講ずることとする。

○三者基本合意の開始時期と長崎本線特急の一定数確保について

- ・肥前山口～諫早間の取扱いについては、平成 34 年度の開業時点で上下分離するものの、期間を延長し、当初の数年間には博多～肥前鹿島間の特急について一定のサービス水準の上乗せを行うこととする。

○全線複線化と新鳥栖アプローチ、武雄温泉アプローチについて

- ・3月8日に佐賀県、長崎県に提示した工程を踏まえ必要な施設については、適切な時期に整備することとする。肥前山口・武雄温泉間の複線化については、段階的に整備し FGT 量産車導入までに全線を複線化する。

今回この考え方が示されたことで、対面乗換方式の検討が進み、平成 34 年度までの開業の実現に向けてさらに前進していくことが期待されます。また、地元負担の軽減が図られることも期待されます。

引き続き、国や佐賀県、福岡県、JR 九州等の関係者間での協議を進めていきます。